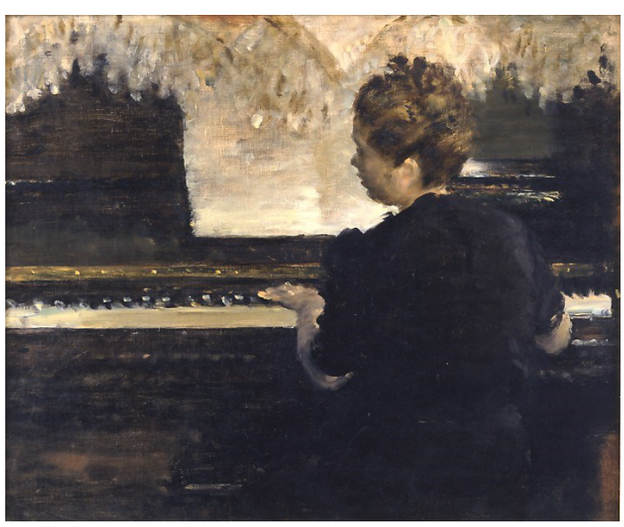
平成 30 年度 第Ⅰ期収蔵品展

宮本三郎 親密な空間 The Intimate Space

2018年4月3日(火)〜8月26日(日)

□展覧会名　平成30年度第Ⅰ期収蔵品展 宮本三郎 親密な空間　The Intimate Space
□会　　期　2018(平成30)年4月3日(火)〜8月26日(日)
□休 館 日　毎週月曜日　ただし、4月30日(月・振替休日)、7月16日(月・祝)は開館、
5月1日(火)、7月17日(火)は休館
□開館時間　10:00〜18:00　入館は17:30まで
□観 覧 料　一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上、中小生100円(80円)
障害者100円(80円)　ただし、小中高大学生の障害者は無料
※介助者(当該障害者1名につき1名)は無料
※( )内は20名以上の団体料金
※小中学生は土日、祝休日は無料



《(ピアノ)》1945-48年頃

■お問合せ
世田谷美術館分館
宮本三郎記念美術館

担当 石居美也(広報・事務) / 加藤絢(学芸員)
TEL 03-5483-3836　FAX 03-3722-5181
Email miyamoto.annex@samuseum.gr.jp
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

□展覧会概要

昭和期を代表する洋画家・宮本三郎（1905～1974）は、その生涯にわたって、人物を中心に、さまざまな画題に取り組みました。宮本三郎記念美術館では、毎回異なるテーマや切り口を設け、その彩りゆたかな画業をご紹介しています。「宮本三郎　親密な空間 The Intimate Space」と題した今回の展示では、なにげない室内風景や、穏やかな日常生活の一場面を切り取るなどした、どこか「親密」な雰囲気の漂う作品群を中心にご紹介します。

画家と描かれた人物との距離感が、どことなく近しいもののように感じられたり、あるいは家庭生活など、私的な領域が垣間見られたりするような場面を描いた絵画たち。美術や文学において、こうした身近な題材を扱いつつ、そこに作者や描かれたものの内面的な世界が示唆されるような傾向を、親密派（しばしば仏語でアンティミスム＝Intimisme）と呼ぶことがあります。描き手自身、または描かれたひと・ものの気配やひそやかな息遣いをそこに感じるとき、たとえそれが劇的な場面でなくとも、私たちの想像力は掻き立てられることでしょう。

本展ではまた、静物画や素描作品もあわせて展示いたします。いつもより少し情感に満ちた、宮本三郎の作品世界をお楽しみください。

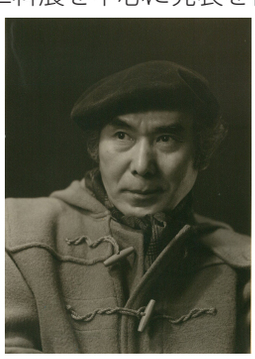
□宮本三郎について

宮本三郎(みやもと･さぶろう)は、1905年5月23日、現在の石川県小松市松崎町に生まれ、1935年7月より世田谷区奥沢にアトリエを構えた、昭和を代表する世田谷区ゆかりの洋画家です。

川端画学校で富永勝重、藤島武二、また個人的には安井曾太郎に指導を受け、戦前は二科展を中心に発表を行いながら、雑誌の挿絵や表紙絵の制作でも活躍。戦時中は従軍画家として藤田嗣治、小磯良平らとともにマレー半島、タイ、シンガポールなどに渡り《山下、パーシバル両司令官会見図》(1942年)をはじめ、数々の作戦記録画を制作しました。

戦後は、熊谷守一、田村孝之介らと第二紀会を設立。生来の素描力を土台に、さまざまに画風を変えながらも、人物を主たるテーマとして制作、晩年は花と裸婦を主題にした豪華絢爛な絵画世界を構築します。

1974年10月13日、腸閉塞による心臓衰弱のため、69歳で他界しました。



撮影 藤原正　撮影年不詳

■会期中のイベント

ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説。入館料のみでどなたでもご参加いただけます。

日　時：2018年4月14日(土)／5月26日(土)　いずれも11:00～(20分程度)
会　場：世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館　2Ｆ展示室
参加費：無料 (ただし、別途観覧料が必要)
申　込：不要 (当日会場にお越しください)

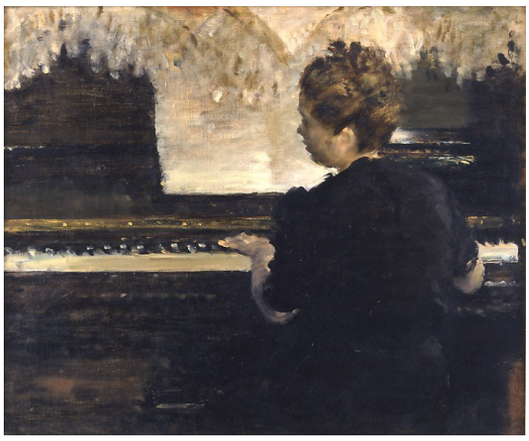
サマー・ワークショップ2018

展覧会会期中の8月に、どなたでも気軽に参加できるワークショップを開催します。お子様から大人の方まで、ひとりでも、グループでもお楽しみいただける簡単な工作を企画中です。詳細はホームページなどでお知らせいたします。

このほか、当館では年間を通して講演会やワークショップ、コンサートなどを開催しています。

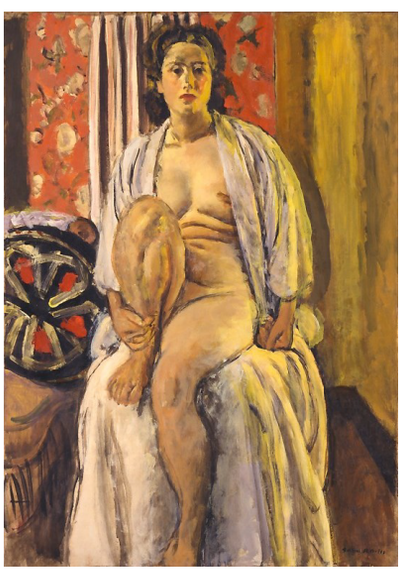
2017年8月9日～11日開催
「サマー・ワークショップ2017 かおかおブローチを作ろう!」の様子

□広報用作品画像



1、《(ピアノ)》1945-48年頃

2、《(編み物)》1945-48年頃



3、《(寝たる裸婦)》1947-48年

4、《(横臥 婦人像)》制作年不詳

5、《(静物／壷 花 コップ)》1961年頃

6、《化粧室の裸婦》1965年

※( )は題不詳につき仮題

各画像は広報用として提供しております。ご希望の際は広報担当までお問合せください